

SPANCRETE CORPORATION

Investors' Guide IR 2024

会社情報



競技場段床（九州）

株式会社 スパンクリートコーポレーション

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-8 本郷三丁目THビル5階

Tel:03-5689-6311 Fax:03-5689-6321

www.spancretecorp.com

〈東証スタンダード市場・コード 5277〉

● みなさまとのコミュニケーションを大切に ●

インベスターズガイドについて

インベスターズガイドは、株主ならびに投資家のみなさまに、当社の財務内容を正確にお伝えするとともに、みなさまとのコミュニケーションの手段として発行を続けてまいりました。毎年約100通のアンケートの回答をいただき、ご意見の一部を編集に反映させていただいております。今後ともみなさまからのご意見をいただきたいと思いますので、同封のアンケート用ハガキにてお寄せいただければ幸いです。

■ 2024年3月期について

建設業界における市場環境におきましては、建設資材の高騰、高齢化による人手不足等により、建設コストが大きく上昇しており、厳しい市場環境が続いております。そうした中、当期の当社グループの業績は、売上高2,035百万円（前年度比10.3%減）、営業損失323百万円（前年度は営業損失511百万円）、経常損失305百万円（前年度は経常損失504百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失301百万円（前年度は親会社株主に帰属する当期純損失548百万円）となりました。

■ 事業部門別

<スパンクリート事業>

当事業につきましては、原材料・エネルギーの上昇コストを販売価格へ転嫁するよう努めました。価格転嫁出来た案件も相当の範囲であったものの、価格改定後、他商材との競合で失注する案件もありました。また、案件の着工中止・遅延の影響もあり、売上金額・数量共に低調となりました。この結果、売上高は1,353百万円（前年度比14.4%減）、セグメント損失345百万円（前年度はセグメント損失295百万円）となりました。

<不動産事業>

当事業は、賃貸用不動産が高稼働を維持し、安定的に推移しているものの一部テナントの退去があり、売上高は218百万円（前年度比6.3%減）、セグメント利益112百万円（前年度比2.6%減）と減収減益となりました。

<プレキャスト事業>

当事業は、売上高463百万円（前年度比2.0%増）、セグメント損失90百万円（前年度はセグメント損失331百万円）となりました。なお、プレキャスト製品の製造及び販売を行う合併会社である岩瀬プレキャスト株式会社については、2024年4月23日開催の同社取締役会において破産手続開始の申立てを行うことを決議いたしました。

ESG・SDGsへの取り組み

□ グリーンイノベーション

『グリーンイノベーション基金事業』とは、2050年カーボンニュートラルの目標達成に向け、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）に2兆円の基金を造成し、官民で野心的かつ具体的な目標を共有し、これに経営課題として取り組む企業等に対して、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援する事業です。

当社は、幹事会社（鹿島建設株式会社、株式会社デンカ、株式会社竹中工務店）が、NEDOより公募された『グリーンイノベーション基金事業/CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト』のコンクリート分野における技術開発提案に民間企業の1社として参画いたします。

本プロジェクトにおいて当社は、生産過程でCO₂発生量を抑制したセメントや予めCO₂を吸着させた骨材を使用した製品の製造を目指し、当社製造機械に適したコンクリート配合を研究してきましたが、現在は初期サンプル品の製作を進めています。

ひとこと

スパンクリート事業につきましては、原材料・エネルギーの上昇コストを販売価格へ転嫁するよう努めた結果、交渉に応じて頂いた案件も相当の範囲であったものの、市場の変動による影響、競合他社との価格競争、案件の着工中止・遅延の影響もあり、売上金額・数量共に低調となりました。

研究開発部門では株式会社竹中工務店と共同し、木目を生かした木の温もりとスパンクリートを融合した新製品、「木(もく)スパンクリート」を発表いたしました。スパンクリート床製品の下面にCLT木材[※]を工場を組み合わせて製造することにより、木材活用の選択肢を拡げ、コンクリートと木の共栄をめざします。この新製品により、木目の見える大きなスパンを小梁なしで掛け渡すことが可能になり、建築現場で取付けていたCLT木材に関わる施工の負担を軽減いたしました。

当63期（2025年3月期）も厳しい状況が継続するものと思われませんが、従業員一同、総力を挙げて業務にあたっておりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き当社をご支援賜りますようお願い申し上げます。



※Cross Laminated Timber、直交集成板

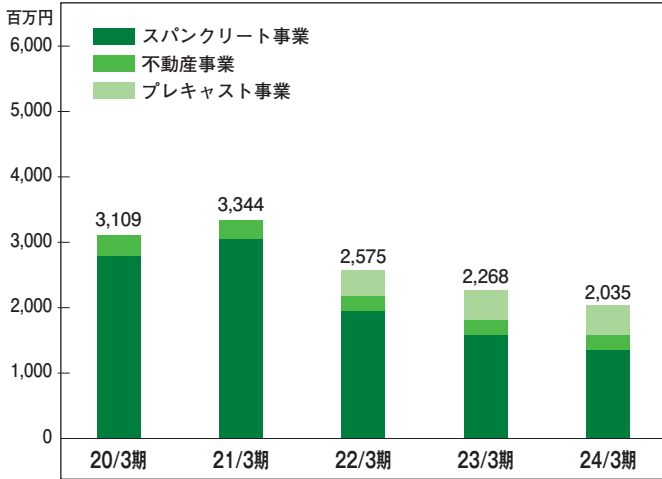
代表取締役社長

木山典子

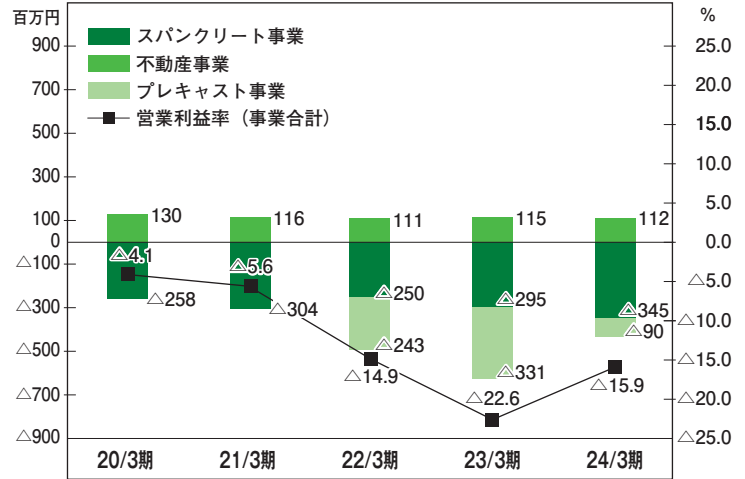
第62期財務ハイライト(2024年3月期)

※2022年3月期より連結決算へ移行しております。比較のための参考情報として、2021年3月期以前は単体実績を表示しております。

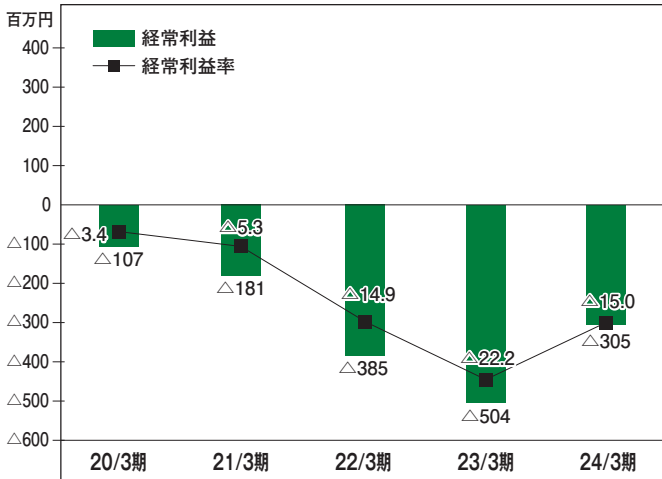
売上高



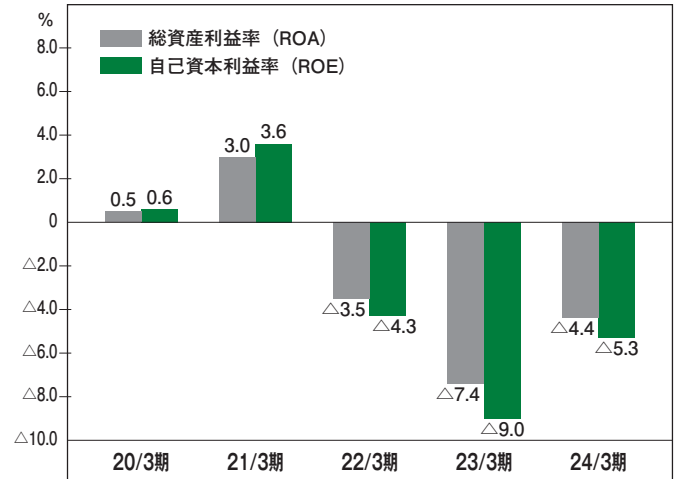
営業利益



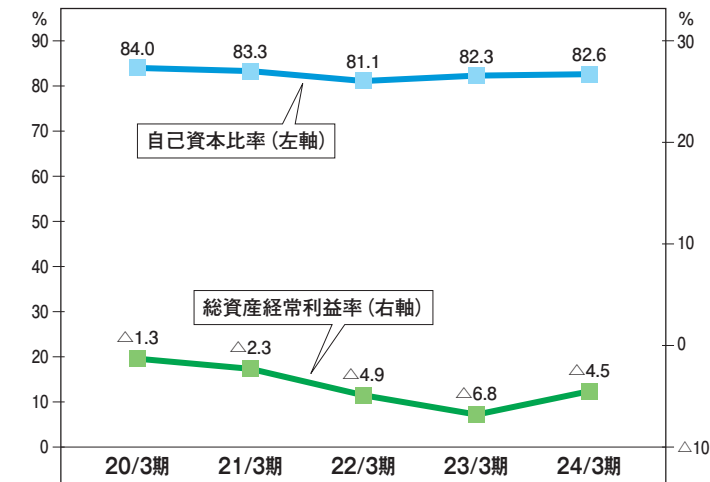
経常利益



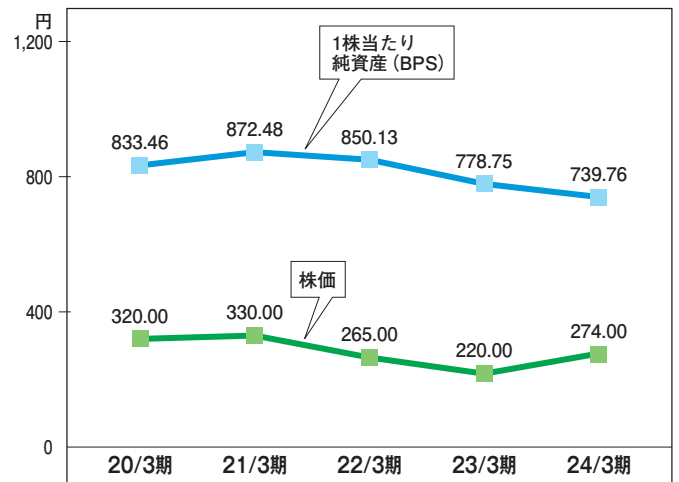
総資産利益率・自己資本利益率



自己資本比率と総資産経常利益率



株価と1株当たり純資産 (BPS)



連結貸借対照表要旨〈資産の部〉

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期	24/3期
資産の部			
流動資産	3,709	3,232	2,825
固定資産	4,100	3,809	3,825
有形固定資産	3,866	3,585	3,545
無形固定資産	7	3	11
投資その他の資産	226	220	267
資産合計	7,810	7,042	6,651

連結貸借対照表要旨〈負債・純資産の部〉

(単位：百万円)

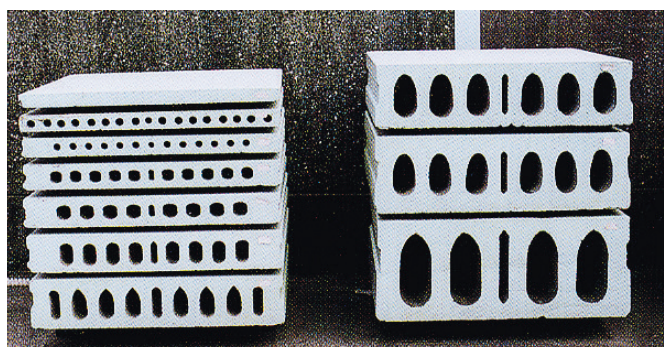
	22/3期	23/3期	24/3期
負債の部			
流動負債	827	829	736
固定負債	428	403	446
負債合計	1,256	1,233	1,182
純資産の部			
株主資本	5,937	5,418	5,114
資本金	3,295	3,295	100
資本剰余金	3,010	3,010	5,709
利益剰余金	82	△436	△240
自己株式	△451	△451	△453
その他の包括利益累計額	394	374	377
その他有価証券評価差額金	105	114	142
土地再評価差額金	289	260	235
非支配株主持分	222	16	△24
純資産合計	6,554	5,809	5,468
負債純資産合計	7,810	7,042	6,651

連結損益計算書要旨

(単位：百万円)

	22/3期	23/3期	24/3期
売上高	2,575	2,268	2,035
売上原価	2,418	2,371	1,995
販売費及び一般管理費	540	408	363
営業損失	△382	△511	△323
営業外収益	8	10	22
営業外費用	10	3	5
経常損失	△385	△504	△305
特別利益	116	—	—
特別損失	100	257	28
税金等調整前当期純損失	△368	△762	△334
法人税、住民税及び事業税	3	5	5
法人税等調整額	△0	△13	1
当期純損失	△371	△754	△341

スパンクリートとは



スパンクリート標準製品。スパンクリートは縦方向に数個の穴をもち、PC鋼線によってプレストレスを与えられたコンクリート板です。床材として、また壁材として建築から土木まで多目的に使用可能な材料です。厚さ7cmから35cmまで17種類。高耐力、ロングスパンが特長です。当社はスパンクリートの生産・販売を行っております。

スパンクリートの特長

高強度部材で大スパンに適します



防水性に優れています



防火性に優れています



遮音性に優れています



今期の主な実績



〈物流倉庫〉

1階の床に合成床を採用頂きました。

現場打ちコンクリートの削減や工期短縮に寄与するだけでなく、スパンクリートの特徴を生かし、在来工法より梁を減ずる長スパンで、多数のお客様にご採用頂いております。



〈鉄道駅〉

鉄道ホームの一般部はスパンクリート、ホームドア設置部はMスラブが採用されました。



〈鉄道駅〉

ホーム延伸に伴い、床板が採用されました。



〈下水処理場〉

建物内設備交換の際に外壁の取り外しを可能とするため、スパンクリートの壁が採用されました。



〈マンション〉

床衝撃音遮断性能を満たし7mの長大スラブを実現するため、スパンクリート合成床が採用されました。

資料請求、お問い合わせは…

株式会社スパンクリートコーポレーション
IR担当 西澤智博 的場 舞 北山麻美
〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-8 本郷三丁目THビル5階
電話 03(5689)6311

制作協力:

株式会社プロネクサス
営業第4部 大木 整
〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング
電話 03(5777)3161

会社の概要

- 会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション
(英文名) SPANCRETE CORPORATION
- 設立 1963年(昭和38年)3月23日
- 資本金 1億円(2024年3月31日現在)
- 役員 代表取締役社長 村山典子
常務取締役 柳田洋明
* 取締役 坪井哲明
* 取締役 蒲野宏之
** 常勤監査役 一瀬茂雄
** 監査役 鈴木誠
** 監査役 山田浩二

(2024年6月27日現在)

*は社外取締役です
**は社外監査役です

- 事業所・本社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-8
本郷三丁目THビル5階
TEL(03)5689-6311
・宇都宮工場 〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地8-5
・岩瀬工場 〒309-1211 茨城県桜川市岩瀬2161-1
(2024年6月27日現在)
- 取引銀行 みずほ銀行
三菱UFJ銀行
みずほ信託銀行

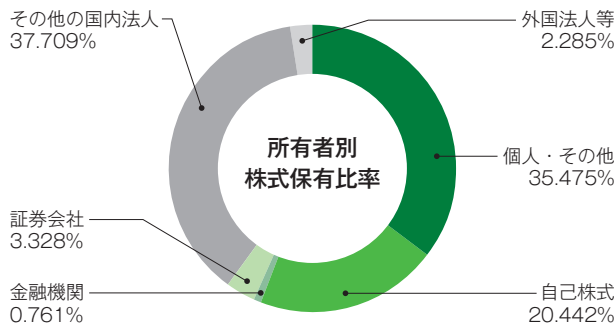
主要取引先

- 設計事務所 三菱地所(株)・(株)日建設計・(株)日本設計・東電設計(株)・(株)松田平田設計・(株)梓設計・(株)今川建築設計事務所・(株)横河建築設計事務所・(株)ジェイアール東日本建築設計事務所・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構・(株)久米設計・(株)石本建築事務所・(株)山下設計・(株)ユニバサル設計 他
- 販売工事店 MUCC商事(株)・敦井産業(株)・ワールド産業(株)・(株)角藤・ナラサキ産業(株)・大中ビルド(株)・藤井産業(株) 他
- 建設会社 鹿島建設(株)・大成建設(株)・清水建設(株)・(株)竹中工務店(株)大林組・前田建設工業(株)・戸田建設(株)・西松建設(株)東急建設(株)・(株)ピーエス三菱・鉄建建設(株)・(株)浅沼組 他

株式の状況

- 発行可能株式総数 28,824,000株
- 発行済株式の総数 9,332,400株
- 自己株式 1,907,761株

株主構成



会社の沿革

- 1963年 3月 スパンクリート製造株式会社(旧社名)設立
資本金1,000万円 代表取締役社長 村山好弘就任
7月 資本金1億円に増資
- 1964年 2月 宇都宮第1工場屋外生産設備完備 試作開始 営業開始
- 1970年 10月 宇都宮第2工場建設完了 生産開始
- 1976年 5月 JISA6511(空胴プレストレストコンクリートパネル)制定される
- 1982年 12月 宇都宮工場 JIS指定工場となる
- 1984年 3月 スパンクリート合成床工法 建設大臣認定を取得
7月 宇都宮第3工場生産設備完了 生産開始
- 1989年 5月 スパンクリート合成床工法 特許を取得
11月 資本金14億9,759万円に増資
11月 岩瀬工場建設完了 生産開始
- 1990年 2月 スパンクリート合成床工法 発明大賞受賞
- 1991年 2月 社名をスパンクリート製造株式会社から株式会社スパンクリートコーポレーションに変更
4月 スパンクリート合成床工法 科学技術庁長官賞受賞
9月 株式を公開(店頭) 資本金32億3,459万円に増資
- 1992年 4月 当社代表取締役社長 村山好弘 黄綬褒章受章(スパンクリート合成床の発明考案など業務精励)
- 2003年 8月 Jスラブ(組立床工法) 財団法人日本建築センターの構造評定を取得
- 2010年 7月 本社を文京区湯島に移転
11月 生産設備を宇都宮工場に統合
- 2013年 6月 東日本旅客鉄道(株)とホームドア設置用床の共同特許取得
- 2015年 11月 コージェネレーションシステム導入
- 2018年 11月 PCa(プレキャストコンクリート) 試験製造開始
- 2021年 4月 岩瀬プレキャスト(株)設立
6月 村山典子代表取締役社長就任
10月 本社を文京区本郷に移転
- 2022年 4月 JASDAQより東証スタンダード市場に移行
- 2023年 8月 資本金1億円に減資

大株主

- MUCC商事株式会社
- 日本スパンクリート機械株式会社
- 村山典子
- 日鉄SGワイヤ株式会社
- 村山知子
- 市原敏隆
- 株式会社紀文食品
- 楽天証券株式会社
- GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL
- 村上敏枝



宇都宮工場